

令和 4 年 6 月 20 日

令和 4 年度魚道ワークショップ

環境水理研究室主催で開催している魚道ワークショップは令和 4 年で 11 回目となり、昨年度および昨年度の 2 年間はコロナの感染対策の影響でオンライン開催となりました。従来の開催方法として、学内で会場を設けて、参加者に来校していただき、発表および議論をすることにしていました。昨年については、1 日目は Zoom 開催とし、その後、2 日間に分けて、東京都昭島市内の多摩川および山梨県北杜市を流れる大武川で現地視察を行いました。

令和 4 年度は 2 箇所で開催とすることにしました。

1 箇所目では、9 月 1 日、2 日に北海道の函館にて開催することにし、1 日目に亀田川の河床状況から河川の周囲の環境との関わりを現地で学ぶことを主体に行い、2 日目に 1 日目に現地で体験したことを幅広く議論を行う。さらに、話題提供者に発表していただき、議論する仕組みを設けます。この場合、2 日目に限り、亀田川近くの現地会場と Zoom による WEB を併用して開催します。(1 日目の現地許容人数 50 名、2 日目の現地許容人数 20 名)

2 箇所目では、10 月 24 日、25 日に静岡県磐田市にて開催することにし、1 日目に天竜川の支川である一雲済川での石組み設置状況および石組み作業、太田川(ぼう僧川)の支川である今之浦川での石組み設置状況および石組み作業の実施を考えています。2 日目に 1 日目に現地で体験したことを幅広く議論を行う。さらに、話題提供者に発表していただき、議論する仕組みを設けます。この場合、2 日目に限り、磐田市内の現地会場と Zoom による WEB を併用して開催します。(1 日目の現地許容人数 40 名、2 日目の現地許容人数 20 名)

参加希望者は下記の NU メールにて教えてください。こちらから、参加招待メールを送信します。参加条件として、Zoom が使用できることです。参加アクセスできるメールを教えてください。

Zoom での参加の上限は 150 名以下をお願いします。

いずれの 2 日目では、午前中は 1 日目の現地企画に関する話題提供をさせていただき、さまざまな意見交換を行いたいと考えています。午後は皆様から希望のあった話題提供をしていただき、さまざまな意見交換を行いたいと考えています。

ただし、動画は動作が非常に悪くなりますので、ご注意ください。また、話題影響希望者からの話題提供については、投稿形式とし、A4 サイズで 2 枚から 4 枚にまとめ、8 月 13 日(土)までに投稿していただきます。(余白は標準として、タイトルは 14pt、所属氏名は 12pt、メールアドレスは 10pt、文章(明朝体, Times New Roman)は 11pt で作成願います。表, 図, 写真のタイトルは 10pt(ゴシック体)をお願いします)。pdf 形式で下記の NU メールに投稿願います。

yasuda.youichi@nihon-u.ac.jp

至らないことが多いと思いますので、皆様のご協力、ご助言を賜りたく宜しく願います。

令和 4 年 6 月 19 日

開催責任者

安田陽一